

口は健康のもと Vol.192

入れ歯の管理について

取り外し式の入れ歯を使っている皆さんは、どのように管理していますか。今回は正しい入れ歯の管理方法について解説します。

入れ歯を洗う時は、口から取り出します。口に入れたまま磨いてしまうと、歯ぐきと接している部分が磨けないまま残ってしまいます。そこにカビの仲間であるカンジダ菌が繁殖すると、入れ歯の形にそって歯ぐきが赤くなる病気になってしまうことがあります。

磨く際に、歯磨き粉をつけると入れ歯が削れてしまいます。できれば義歯用ブラシを使用し、流水下で洗うようにします。入れ歯の硬い部分をしっかりと持って磨きます。ぬめりは口の中の細菌が残っている証拠です。ぬめりはきちんと取り除きます。

歯にかけるバネがある場合、無理に力を加えると歪んでしまいます。着脱や清掃の際に、バネに力が加わりすぎないようにしましょう。

入れ歯を外している時には、水の中で保管するようにしましょう。乾燥したままにすると、入れ歯が変形してしまい、歯ぐきと適が悪くなってしまうことがあります。義歯用の洗浄剤を使用すると、入れ歯の汚れや臭いをおさえることができます。



奥羽大学歯学部附属病院

地域医療支援歯科 准教授 鈴木 史彦

